

平成 22 年 5 月 7 日

各都道府県病院薬剤師会 会長 殿
薬学教育（実習）委員会委員長 殿

社団法人 日本病院薬剤師会
会長 堀内 龍也
常務理事・薬学教育委員会委員長
松原 和夫

薬学長期実務実習における問題点の収集のお願い

謹啓 貴病院薬剤師会におかれましては、益々ご活躍のことと拝察申し上げます。

6年制薬学教育における最初の長期実務実習が5月17日から開始されます。質が高く均質な病院実習が実施されることを切望しております。第一回目の実習が極めて重要ですが、様々な予期されぬ問題も生じてくることと存じます。日本病院薬剤師会としては、発生した問題点を早期に収集・分析して、会員施設にフィードバックするとともに、問題点と解決方法を共有する必要があると考えております。そこで、各都道府県病院薬剤師会におかれましては、実習期間中に生じた問題点を収集していただき、試みた解決方法とその効果なども含めて日本病院薬剤師会にご報告をお願いいたします。それら問題点につきましては、会員施設から報告されるルートを確立して頂くとともに、各施設から報告された時点で、逐一日病薬事務局までご連絡下さるようお願い致します。

報告は別添の様式に記載して戴き、下記アドレスにメールでご報告下さい。日病薬の薬学教育委員会で全国からの報告を集約、解析して、全国にフィードバックしたいと考えております。

上記の件につきまして、各都道府県病院薬剤師会の薬学生受け入れ施設に早急にご連絡下さい。会員施設より、直接ご報告下さっても結構です。

記

報告先：日本病院薬剤師会事務局 総務課宛て (somu@jshp.or.jp)

報告内容：病院実習中に起こった問題点

対処方法：問題点に対処できた場合